

## 2023年度 第407回教育研究審議会議事要録

**日時** 2023年7月18日(火) 14:50～16:48  
**場所** ひびきのキャンパス 第1会議室  
**出席者** 柳井学長、漆原副学長、上江洲副学長、内田副学長、後藤副学長、中本事務局長、武井外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、中武国際環境工学部長、西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、寺田学生部長、狭間教務部長、廣渡基盤教育センター長、篠崎入試センター長、浅羽情報総合センター長、井上環境技術研究所長、二宮図書館長

**配布資料**

- 1-1 組織人事委員会の審議結果
- 1-2 組織人事委員会の審議結果
- 1-3 欠員補充申請書(外国語学部)
- 1-4 欠員補充申請書(国際環境工学部)
- 1-5 欠員補充申請書(環境技術研究所)
- 1-6 欠員補充申請書(環境技術研究所)
- 1-7 欠員補充申請書(基盤教育センター)
- 2 北九州市とのリカレント教育推進事業に係る協定について
- 3 アセスメントプランにおける点検評価の実施について
- 4 教育課程の再編について
- 5 環境技術研究所における専任教員の兼任学科の変更について
- 6 大学設置基準等の改正について(令和4年10月改正)
- 7 地方独立法人法改正に伴う中期計画への指標の追加について
- 8 北九州市立大学外国人留学生後援会へのご賛助のお願い
- 9-1 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書
- 9-2 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書
- 9-3 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書
- 10 2022年度成績優秀者表彰(4年生)進路状況について

### 第1号 教員の人事について

\* 資料1-1のとおり、2024年4月1日から国際環境工学部環境生命工学科所属教員1名の国際環境工学部情報システム工学科への異動について組織人事委員会の審議結果にもとづき提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

\* 資料1-2のとおり、2023年10月1日から国際環境工学部情報システム工学科の教員ポスト1名分を環境技術研究所へ異動することについて組織人事委員会の審議結果にもとづき提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

\* 資料1-3のとおり、外国語学部からの申請に基づき、2024年3月31日付で定年退職する伊藤健一教授の後任として、通訳教育、国際教育担当教員1名の欠員補充申請について提案。

● 後任の方に担当してもらおう分野、通訳教育・国際教育法について、国際教育法の「法」は「方法」の「法」ということだが、国際教育法という法律を扱う分野がある為、公募をかける際は説明が必要ではないか。

また、通訳教育について、通訳・翻訳の技術となると実務家教員が応募してくる可能性があるが、実

務家教員該当「無」で良いのか。

- 実務家教員が応募してきた場合、採用とはならない。実務家教員でも業績があれば採用する可能性がある。国際教育法については説明を入れて対応する。
- 大学院でも担当科目を持ってもらいたいということだが、公募の時点で書いていなければ採用後に大学院でも教鞭を執ることについて拒否されるのではないか。
- 幅広く募集し、採用者の業績に合わせて段階的に大学院でも担当科目を持ってもらいたいと考えている。面接時には大学院で担当科目を持つ可能性について説明を行う。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-4 のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、2024 年 4 月 1 日付で国際環境工学部情報システム工学科へ異動する藤山淳史准教授の後任として、国際環境工学部環境生命工学科における生物生体工学（環境・生態・生命計測、生物物理）分野の担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-5 のとおり、環境技術研究所からの申請に基づき、2024 年 4 月 1 日付で環境技術研究所と国際環境工学部情報システム工学科を兼任する松本亨教授の後任として、環境マネジメント（数理シミュレーション・バイオインフォマティクス）分野の担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-6 のとおり、環境技術研究所からの申請に基づき、2023 年 3 月 31 日付で退職した堀口和己教授の後任として、情報工学、システム制御分野の担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

- 補充時期が2023年10月1日ということは、次回の2023年9月5日の教育研究審議会で採用を承認する必要があるが間に合うのか。公募期間が非常に短いことも気になる。
- 2023年7月25日までに選考委員会を開き、2023年7月26日～2023年8月9日まで公募をかける。その後、8月中旬に書類選考。2023年9月4日～2023年9月8日に面接。2023年9月19日の教育研究審議会で採用について承認をいただくつもりである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

\* 資料 1-7 のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、2024 年 3 月 31 日付で定年退職する柏木哲也教授の後任として、応用言語学・英語教育学または関連分野の担当教員 1 名の欠員補充申請について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（議案承認の後、選考委員会を設置）

## 第2号 北九州市とのリカレント教育推進事業に係る協定について

\* 資料2のとおり、北九州市とのリカレント教育推進事業に係る協定について提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第3号 アセスメントプランにおける点検評価の実施について

\* 資料3のとおり、アセスメントプランにおける点検評価の実施について提案。

- アセスメントプランに沿って、組織レベル・教員レベルでの点検評価を実施し、その結果を各学部・学群・基盤教育センターにおいてとりまとめ、提出を依頼するもの。
- 提出期限が2023年8月4日となっているが、短い期間で正しい評価が出来るのか。
- 第3号議案は第4号議案と関連しているため、第4号議案にて回答する。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第4号 教育課程の再編について

\* 資料4のとおり、教育課程の再編について提案。

- アセスメントプランに基づく自己点検評価を実施。自己点検評価結果をもとにカリキュラム再編について検討を進めていくもの。
- (第3号議案で出た質疑に対する回答)  
アセスメントした後にカリキュラム再編を行う。カリキュラム再編の時間を十分にとる為にアセスメントの期限が短くなっている。
- 8月4日までにアセスメントする必要があるのであれば、7月18日に依頼をかけるのは遅いのではないか。
- 2019年度から開始した現行の教育課程が完成年度を迎え、4年生のデータまで把握して点検評価を実施することとした為、本日まで時間が必要であった。
- あと2週間程度で十分にアセスメント出来ると考えているのか。
- 今年度中にカリキュラムを作り上げる必要がある。ただ、過去のカリキュラム再編においてスケジュールは臨機応変に対応してきた。今日のところは提出期限を2023年8月4日として、作業を行ってもらいたい。作業を行う中で、部局ごとで進捗が異なったり、掘り下げたい点が出てきた際は対応したい。
- 提出期限を1週間延ばすとどうなるのか。
- 提出期限を1週間延ばした分、カリキュラムの作成が遅れる。延ばして構わないが、ゆとりがなくなってくる為、適宜カリキュラム作成の進捗はチェックさせてもらい、進捗に遅れがあれば指摘させてもらう。
- それでは1週間程度延ばすこととする。
- コア科目（主要授業科目）の判断基準と科目数削減の趣旨を教えてほしい。
- 主要授業科目は、文科省の質疑応答や3つのポリシー、必修科目に則って各学部・学科にて決めて欲しい。  
科目数の削減について、事前学習・事後学習を行いディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に応ずる学習成果をあげるには、現行、学生がとっている科目数は多いと考えている。  
また、経営上の観点から、大学の教員の供給力が低下しており、非常勤講師を探すことが困難になってきている。リスクの排除という意味でも科目数の削減を行いたい。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 報告

- ① 教員の異動について
- ② 大学設置基準の改正について
- ③ 地方独立行政法人法改正に伴う中期計画への指標の追加について
- ④ 北九州市立大学外国人留学生後援会へのご賛助のお願いについて
- ⑤ 教員の海外出張について
- ⑥ 2022年度成績優秀者表彰（4年生）進路状況について